



栃木県立宇都宮工業高等学校

全
日
制



所在地 〒321-0198 宇都宮市雀宮町52番地
TEL 028-678-6500
FAX 028-678-6600
URL <http://www.tochigi-edu.ed.jp/utsunomiyakogyo/nc2/>
創立 大正12年
課程 全日制課程
設置学科 機械科、電子機械科、電気科、電子情報科、
建築デザイン科、環境設備科、環境土木科
生徒数 960名（男子850名、女子110名）
（令和3年4月1日現在）
利用交通機関 JR宇都宮線 雀宮駅下車・東口から徒歩3分

I 学校の概要

本校は、令和元年度から3年間、文部科学省から「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定を受け、「とちぎの共創型実践技術者」の育成を目指します。

1 学校教育目標

豊かな人間性、確かな技術・技能を身につけ、将来の産業界を担う技術者を育成する。

2 目指す学校像

- 先端的な科学技術や工業技術に対応できる資質と意欲をもつ生徒を育成する学校
- 努力を惜しまず、真摯にものづくりに取り組むことができる生徒を育成する学校
- 国際的な視野をもち、リーダーシップを発揮して社会に貢献できる生徒を育成する学校
- 心身ともに健康で、高い倫理観と責任感、思いやりの心をもつ生徒を育成する学校

3 募集する生徒像

本校の教育目標と目指す学校像を理解している生徒で、本校を強く志望し、基本的な生活習慣が身に付いており、次の（1）から（3）までの全てに該当する者

- （1）志望する系（学科）に対する興味・関心があり、学ぶ意欲が高い生徒
- （2）ものづくりに関心をもち、将来工業技術者として活躍したい生徒
- （3）部活動や資格取得などに、積極的に取り組む生徒

4 施設・設備の特徴

校舎はガラスを多用した明るく開放的なデザインです。太陽光発電やLED照明を取り入れたり、トイレには雨水を利用したりするなど環境にも配慮しています。教室にはエアコンが完備され、系ごとに4つある実習棟には先端的な設備が導入されるなど、学習環境がとても充実しています。特徴的な施設である階段状の教室「大講義室」は、320名が収容可能で、学年全体を対象とする授業や400インチのスクリーンを活用した学習成果発表会などが行われます。グラウンドには、野球場やサッカー兼ラグビー場、テニスコート、400mトラックなどがあり、授業や部活動で生徒が伸び伸び活動できます。敷地面積約8万㎡（南北約400m、東西約200m）は県内最大級の広さです。

また、これらの施設・設備を大切に使用する意識を高めるとともに、環境を自ら守っていくという意識を持たせていくため、本校では「3S活動（整理・整頓・清掃）」を積極的に推進しています。



右上…食堂 右下…第1体育館
中…インタラクティブコート
左上…図書館 左下…大講義室

5 制服の特徴

男子は濃紺の詰襟スタイルです。女子は濃紺のシングル3つボタンのスーツスタイル（スカート・スラックスの選択可）に、サックスブルーのブラウスを合わせています。

II 学校、コース、学科、教育課程等の特色

1 学び方の特徴（4系11コース7学科）

技術の高度化や複合化に対応できる人材育成を目指し、クラスは「4系11コース7学科」となっています。入学者選抜は関連のある学科をまとめた「系」で募集し、1年次は系ごとに幅広く工業の基礎・

基本を学びます。2年次からはコース（学科）と進路希望に沿った類型（進学類型・専門類型）をそれぞれ選択し、学習内容を深化・発展させることを通して、一人一人の進路実現を確実に図っています。

1年次（4系）		2・3年次（11コース7学科）＋類型選択			
系	定員	コース	定員	学級	学科
機械システム系	120名 3学級	機械技術コース	40名	1学級	機械科
		機械エネルギーコース	40名	1学級	電子機械科
		電子機械コース	40名	1学級	電気科
電気情報システム系	80名 2学級	電気エネルギーコース	40名	1学級	電子情報科
		電子コース	20名	1学級	電子情報科
		情報ネットワークコース	20名	1学級	電子情報科
建築デザイン系	40名 1学級	建築技術コース	20名	1学級	建築デザイン科
		住環境デザインコース	20名	1学級	建築デザイン科
環境建設システム系	80名 2学級	環境設備コース	40名	1学級	環境設備科
		土木施工コース	20名	1学級	環境土木科
		土木設計コース	20名	1学級	環境土木科



2 各系の目標とめざす資格・検定

(1) 機械システム系

機械について幅広く学び、機械の設計・製造、メカトロニクス等に関する知識・技能の習得を図り、機械の設計・製造、生産システムの管理を担う機械技術者を育成します。

【資格・検定】2・3級技能士（機械加工、機械検査作業、電気機器組立）2級ボイラー技士 ガス溶接技能講習など

(2) 電気情報システム系

電気・電子・情報技術について幅広く学び、電子技術や情報ネットワーク等に関する知識・技能の習得を図り、電気情報全般に関する整備・保守管理を担う電気・電子・情報ネットワーク技術者を育成します。

【資格・検定】第1・2種電気工事士 工事担任者第一級・二級デジタル通信 2・3級技能士（情報配線施工）など

(3) 建築デザイン系

建築や住環境デザインについて幅広く学び、設計・施工や建築デザイン等に関する知識・技能の習得を図り、建物の設計、施工等に携わる建築士や建築施工技術者を育成します。

【資格・検定】2級建築施工管理技士 2・3級技能士（建築大工）小型車両系建設機械特別教育など

(4) 環境建設システム系

環境保全や建設技術について幅広く学び、建築設備や土木構造物の設計・施工等に関する知識・技能の習得を図り、建物や社会基盤システム構築に携わる建築設備技術者、土木技術者を育成します。

【資格・検定】2・3級技能士（建築配管）2級管工事施工管理技術検定 2級ボイラー技士 消防設備士 測量士補 2級土木施工管理技術検定 甲種火薬類取扱保安責任者 小型車両系建設機械特別教育など

3 本校教育の特徴

(1) 授業時間と学習形態

授業は週あたり32時間あり、火・木曜日は7時間の授業になります。国語や数学などの共通科目と専門科目の時間数は2年次に選択する類型によって異なります。4年制大学進学を目指す「進学類型」を選択すると、「専門類型」に比べて、卒業までに数学を3時間、理科を4時間、英語を3時間多く学習することができます。また、専門科目の実習は1クラス4班編制となり、10名ずつの少人数で行います。班ごとに4つの実習テーマをローテーションしながら学習し、専門的な知識や技能を高めていきます。

(2) 本校教育の特徴

研究指定などを活用し、主に次の3つの教育に力を入れて取り組んでいます。

- ①「ものづくり教育」（本県産業の将来を担う技術力に対応できる人材の育成）
 - ・企業と同レベルの先端的な設備を活用した実習
 - ・地域企業や大学と連携した外部講師による講話
 - ・高度な資格試験や各種技能検定への挑戦
 - ・高校生ものづくりコンテスト、各種競技大会への積極的な参加
- ②「環境教育」（工業人としての倫理観等の育成）
 - ・環境教育活動を通じた技術者としての倫理観の育成
 - ・人に優しく地球環境に優しいものづくりができる技術者の育成
- ③「継続教育」（大学進学等の継続教育への対応）
 - ・数理英の授業時間を多くした進学類型の設置
 - ・課外授業（数学・理科・英語）を週3日実施

◆本校では生徒の皆さんの悩みや心配事に対応するため、スクールカウンセラーが定期的に来校し、生徒一人一人が生き生きとした学校生活を送れるよう、支援・援助していきます。

Ⅲ 進路状況（令和2年度実績）

就職では「17年連続 就職内定率100%」、進学では「国公立大学合格4名」などの実績を上げています。令和2年度は652社（県内355社、県外297社）から求人をいただくなど、本校生への期待の高さを感じます。また、本校教育の特徴の一つである「継続教育」が実を結び、大学進学者は52名（国公立大学4名、私立大学48名）でした。

1 主な就職先（過去3年間）

【民間企業】

アーレスティ栃木 アサヒファシリティーズ いすゞ自動車 宇都宮機器 宇都宮土建工業 NTT東日本 エヌティティエムイー エムイーエムシー 大谷工業 オートテックジャパン 小野測器 オフィスエフエイコム 花王 鹿島道路 カルビー 関西ペイント 関電工 関東電気保安協会 神田通信機 ギガフォトン 菊池組 キヤノン キヤノンメディカルシステムズ キヤノン電子管デバイス キヤム 京三電機 清原住電 クボタ クボタケミックス グラクソ・スミスクライン 京浜急行電鉄 現代総合設計 神戸製鋼所 興和 小堀建設 小松製作所 コニシ 山王テック 三立調査設計 三和テック ジェイバス 自治医科大学 清水建設 首都圏新都市鉄道 鈴木貴博建築設計事務所 SUBARU航空宇宙カンパニー 住友電気工業 住友ベークライト 住友電工産業電線 施工技術研究所 ゼブラ 千住金属工業栃木 西武鉄道 積水ハウス関東 タスク ダイセキ MCR 田中工業 TAKシステムズ TAKリビング テイ・エステック TKC デュボン 東京計器 矢板 東京製鐵宇都宮 東京電力パワーグリッド 東京急行電鉄 東京地下鉄 東光高岳 東色ピグメント 東武建設 東プレ 東武ビルマネジメント 東鉄工業 東洋測量設計 東武インターテック 東武ステーションサービス 東洋紡 東芝エレベータ東京 東芝エレベータ北関東 都市開発コンサルタント 栃木住友電工 バコーポレーション トヨタ自動車 栃木シャーリング ナカニシ 中野冷機 中村土建 日産道路 日産自動車 日神工業 日本信号宇都宮 日本コークス工業 日本精工技術センター 日本たばこ産業北関東 日本ビルコン 日本道路北関東 日本ペイント ネクスコ東日本エンジニアリング 浜屋組 東日本旅客鉄道 日立金属真岡 久光製薬 日立ジョンソンコントロールズ空調 日立グローバルライフソリューションズ栃木 日立ビルシステム関東 日立ビルシステム首都圏 日野自動車 平田機工 ファナック 藤井産業 フジタ道路 船見組 フルテック ベクトルジャパン ボッシュ栃木 本田技研工業生産技術統括部 本田技術研究所四輪事業本部 本田技研工業二輪事業本部 本田技研工業埼玉製作所 本田技研工業パワートレインユニット ホンダロックR&Dセンター マキタ ミットヨ宇都宮 三菱電機ビルテクノサービス関越 村田発條 森六テクノロジー ヤマウチ鹿沼 山口重工業栃木 山本建設 ユタカ技研 吉野工業所宇都宮 レオン自動機 レニアス UDトラックス 渡辺建設

【公務員】

警視庁 国土交通省 栃木県庁 宇都宮市役所 日光市役所 真岡市役所 栃木市役所 さくら市役所 壬生町役場 上三川町役場 宇都宮消防署 栃木市消防署 石橋地区消防組合 栃木県警察 自衛隊

2 主な進学先（過去3年間）

【国公立大学】

東京学芸大学 山形大学 茨城大学 北見工業大学 宇都宮大学 岩手県立大学 信州大学 長岡技術科学大学 長岡造形大学 新潟大学 会津大学

【私立大学】

足利大学 帝京大学 白鷗大学 神奈川大学 城西大学 日本工業大学 ものづくり大学 千葉工業大学 工学院大学 芝浦工業大学 東京工科大学 江戸川大学 東京電機大学 湘南工科大学 東洋大学 日本大学 上武大学 多摩美術大学 大正大学 関東学院大学 神奈川工科大学 帝京平成大学 東京国際大学 文星芸術大学 金沢工業大学 城西国際大学 埼玉医科大学 桐蔭横浜大学 横浜商科大学

【専門職大学】

東京国際工科専門職大学

【高専・大学校・短大】

昭和音楽大学短期大学部 小山工業高等専門学校 関東職業能力開発大学校 栃木県産業技術専門校

【専門学校】

青山製図 アミューズメントメディア総合学院 宇都宮ビジネス電子 宇都宮日建工科 太田医療技術 太田自動車大学校 大宮スイーツ&カフェ 国際航空 国際ティビシィ小山看護 国際テクニカルデザイン・自動車 国際テクニカル美容 京都建築大学校 さくら総合 トヨタ東京自動車大学校 東京文化美容 日産栃木自動車大学校 日本工学院八王子校 日本美容 二葉栄養 ホンダテクニカルカレッジ関東 マロニエ医療福祉

IV 主な学校行事



キャリア形成支援事業（6月他）



体育祭（9月）



2学年インターンシップ（10月）



宇工祭（10月）

V 部活動

1 部活動一覧

【運動部】 野球部 サッカー部 バスケットボール部 バレーボール部 ソフトテニス部 テニス部
ハンドボール部 卓球部 陸上競技部 ラグビー部 柔道部 バドミントン部 剣道部

弓道部 水泳部 空手・少林寺拳法部
 【文化部】 書道部 美術部 科学技術研究部 無線研究部 音楽部 写真部 JRC部 茶・華道部
 パソコン部 生産システム研究部 機械研究部 電子機械研究部 電気電子研究部
 建築研究部 設備研究部 土木研究部

2 部活動の主な活躍（過去3年間）

【運動部】

《全国大会出場》バスケットボール部 空手・少林寺拳法部
 《関東大会出場》バスケットボール部 ソフトテニス部 陸上競技部 空手・少林寺拳法部
 バレーボール部

【文化部】

《建築研究部》《設備研究部》技能五輪全国大会出場 配管銅賞 《写真部》関東地区高等学校写真展
 出展（全国大会出場）《生産システム研究部》全国大会出場 《音楽部》東関東大会出場 《建築研究
 部》高校生ものづくりコンテスト栃木県大会 木材加工部門優勝（関東大会出場）《電気電子研究部》
 高校生ものづくりコンテスト栃木県大会電気工事部門準優勝（関東大会出場）《美術部》栃木県高校
 デザイン展最優秀賞《土木研究部》高校生ものづくりコンテスト測量部門優勝・準優勝（関東大会出場）

VI 特色選抜について

1 定員の割合

機械システム系30%程度 電気情報システム系30%程度 建築デザイン系30%程度 環境建設シ
 ステム系30%程度

2 出願するための資格要件

「募集する生徒像」に合致しており、本校での学習に対応できる基礎学力が身に付いている者で、次
 の（1）（2）のいずれか又は両方に該当する者

- （1）数学・理科が得意で、入学後は工業技術者を目指し、意欲的に学習する者
- （2）スポーツ活動、文化活動、生徒会活動などにおいて顕著な実績を上げ、入学後も積極的に活動する者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
作 文	時間40分 字数500～600字

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、
 - ①「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計する。
（135点満点）
 - ②「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の数学・理科の評定（選択教科を除く）を合計し、
段階評価を行う。（30点満点）
また、調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するものを評価する。
- 3 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的
 に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2の①で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の80%以
 内にある者（ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者の80%以内にある者）を対象とし、
 数学・理科の評価が良好な者、または、スポーツ活動、文化活動、生徒会活動などにおいて顕著な
 実績があると認められる者のいずれかに該当し、面接・作文の評価がともに良好である者を合格内
 定とする。

第2次審議

第1次審議で合格内定となった者を除いた受検者のうち、【資料の取扱い】の2の①で点数化し
 た部分の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の100%以内にある者（ただし、受検者が定員に
 満たない場合は、全ての受検者）を対象とし、数学・理科の評価が優秀な者、または、スポーツ活
 動、文化活動、生徒会活動などにおいて顕著な実績があると認められる者のいずれかに該当し、面
 接・作文の評価がともに良好である者を合格内定とする。

第3次審議

第1・2次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を
 総合的に判断して、合格内定者を選抜する。